

京阪ホールディングス株式会社 レポーティング

①資金充当状況のレポーティング（2025年5月末時点）

	第36回無担保社債 (サステナビリティボンド)	第37回無担保社債 (サステナビリティボンド)	グリーンローン	第38回無担保社債 (グリーンボンド)
条件決定日/契約締結日	2021年7月9日	2024年1月19日	2024年6月26日	2024年9月6日
調達額（社債発行額/ローン組成金額 から諸費用を除いた金額）	9,932百万円	9,941百万円	7,937百万円	9,941百万円
資金充当額	9,932百万円	9,941百万円	7,937百万円	9,941百万円
未充当残高	－	－	－	－
リファイナンスの割合	90%	58%	－	70%

京阪ホールディングス株式会社 レポーティング

②インパクトレポーティング（2025年5月末時点）

適格事業	充当プロジェクト	第36回 無担保社債 (サステナビリティ ボンド)	第37回 無担保社債 (サステナビリティ ボンド)	グリーンローン	第38回 無担保社債 (グリーンボンド)	レポーティング項目	実績
グリーン	鉄道車両の省エネルギー化	車両新造（京阪電車13000系）	○		○	資金使途となった車両の投入数	36両（6編成）
						省エネルギー効果	消費電力35%削減（従来車両2600系対比）
						1編成あたりの 想定CO ₂ 排出量削減効果	320t-CO ₂ /年*2
	環境配慮型建物	GOOD NATURE STATION	○			取得認証レベル・取得時期	LEED Silver（2020年8月） WELL Gold（2020年8月）*3
						年間CO ₂ 排出量	454.59t-CO ₂ *4（2024年度実績）
						年間エネルギー使用量	電気 2,788,540kWh（2024年度実績） ガス 221,734Nm ³ （2024年度実績）
						年間水使用量	14,936.1m ³ （2024年度実績）
		ステーションヒル枚方*1		○	○	認証取得レベル・取得時期	DBJ Green Building認証3つ星（2024年9月）
		淀屋橋ステーションワン*1			○	認証取得レベル・取得時期	BELS 5つ星（2024年10月） ZEB Oriented（オフィス用途）（2024年10月） DBJ Green Buildingプラン認証5つ星（2024年12月）
ソーシャル	環境負荷軽減素材を使用した製品の調達・使用	脱プラスチックの取り組み*1	○	○		容器等の使用量	1,837kg（2024年度実績）
	再生可能エネルギー由来の電力の調達	GOOD NATURE STATIONにおける再エネ電力証書の購入*1		○		電力調達量	2,850,000kwh（2024年度実績）
	サステナブルな原料の調達・使用	フェアトレードカカオ製品の製造・販売*1	○			カカオの調達量	3,292kg（2024年度実績）
						取引したカカオ農園数	632農園（2025年3月末時点）*5
						カカオ農園の雇用者数	843人（2025年3月末時点）*5
	まちの賑わいや商業の活性化に繋がる市街地再開発	枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業と合わせた枚方市駅東改札口と高架下商業施設の整備*1		○		枚方市駅の 1日当たり平均乗降人員数	73,777人／日（2024年度実績）

*1 プロジェクトの概要は次頁以降で記載

*2 従来車両（2400系・2600系・5000系）との比較、車両原単位(車両1両が1km走行するのに必要な電力量)×車両数×2024年度走行距離×CO₂排出係数 0.000419t-CO₂/kWh(環境省・経済産業省 電気事業者別排出係数一覧)

*3 2019年10月にCASBEE Aランクを取得しているが、認証期限が到来しているため記載していない

*4 {電気使用量kWh×0.000419t-CO₂/kWh(環境省・経済産業省 電気事業者別排出係数一覧)} + {都市ガス使用量 Nm³×2.05t-CO₂/1,000Nm³(環境省算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧)}

*5 2023年度より調達方法を変更

プロジェクトの概要①

環境配慮型建物「ステーションヒル枚方」／まちの賑わいや商業の活性化に繋がる市街地再開発



- 「えきから始まるまちづくり」の方針のもと、駅の魅力・価値向上と駅周辺への都市機能の集積、地域の特色を活かしたまちづくりの実現を目指す枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業へ参画し、駅と一体となる施設を建設
- 枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業と合わせて、枚方市駅東改札口と高架下商業施設を、まちの賑わいや活性化に繋がる「枚方モール」として整備するとともに、「ウォーカブルなまちづくり」を促進

環境配慮型建物「淀屋橋ステーションワン」



- 長期経営戦略における主軸戦略の一つ「沿線再耕」の一環として、御堂筋の玄関口・淀屋橋に、先進の環境配慮技術を導入するオフィスビルを建設
- 本事業では、中央日本土地建物株式会社が所有する「日土地淀屋橋ビル」と当社が所有する「京阪御堂筋ビル」を共同で建て替え、エリア最高となる建物高さ約150mのランドマークビルを開発
- 熱負荷の低減や調光制御、排熱利用のほか、建物内のVOID空間（吹き抜け）を活用した自然換気システムなど、さまざまな省CO₂技術を導入

プロジェクトの概要②

脱プラスチックの取り組み



- 京都で運営する複合型商業施設「GOOD NATURE STATION」から発信するオーガニックコスメブランド「NEMOHAMO」、食の安全を意識した「MARKET」における脱プラスチックの取り組み
【取得している認証】「NEMOHAMO」のヘアケア&ボディケア用品のボトルにバイオPE（バイオマスプラ認証取得）を採用

GOOD NATURE STATIONにおける再生電力 証書の購入



- 京都で運営する複合型商業施設「GOOD NATURE STATION」の、ホテルを含む全館で使用する電力を、非化石証書の購入により、実質再生可能エネルギー由来の電力100%に転換

プロジェクトの概要③

フェアトレードカカオ製品の製造・販売



- GOOD NATURE STATIONから発信するオリジナルスイーツブランド「RAU」「Sachi Takagi」、フードブランド「GOOD NATURE MARKET」において、フェアトレードカカオを使用した商品を製造・販売